

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	感染症予防対策費			担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始年度	平成元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課		結核感染症課 井上肇	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)			関係する計画、通知等	感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型インフルエンザ等対策特別措置法において、特定接種の対象となる医療従事者や社会機能維持者が従事する事業者は、厚生労働大臣の登録を受ける必要があり、そのための事業者の登録や情報の管理を行うことや感染症予防に係る検討会や研修を実施し、感染症予防対策を推進するとともに、特定感染症予防指針に基づく予防対策等を検討する検討会等を実施することにより感染症の発生を予防し、まん延の防止を図ることが目的である。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①感染症予防事業(事業開始年度:平成元年度) 感染症予防に係る検討会・研修会の開催及び感染症発生時等における情報収集・分析等を実施 ②特定感染症予防対策推進(事業開始年度:平成11年度) 特定感染症予防指針に基づく予防対策などの検討を行う検討会の開催 ③動物由来感染症対策事業(事業開始年度:平成11年度) 動物由来感染症対策技術研修会や地域対策推進会議等の開催 ④新型インフルエンザ対策事業(事業開始年度:平成20年度) 特定接種の対象者が従事する事業者の登録や情報管理のためのシステム構築・運用及び全国の地衛研等が適切に検査が実施できるよう研修、検査試薬の購入等を実施。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	35	61	118	66		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計		35	61	118	66	0	
	執行額		26	57	112			
執行率(%)		74%	93%	95%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	①～③感染症予防に係る各種検討会、担当者の研修会の参加者・受講修了者数	検討会・研修会の参加者・受講修了者数	成果実績	人	1,260	1,315	1,329	
			目標値	人	1,299	1,353	1,428	1,368
			達成度	%	97%	97%	90%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	①～③感染症予防に係るリーフレット等配布箇所数	配布枚数	成果実績	箇所	562	706	442	
			目標値	箇所	562	706	583	854
			達成度	%	100%	100%	80%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	④新型インフルエンザ等感染症に関する相談件数	相談件数	成果実績	件	2,338	3,137	3,939	
			目標値	件	1,549	2,338	3,137	3,939
			達成度	%	151%	134%	126%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	①～④エボラ出血熱、デング熱、鳥インフルエンザ(H7N9)等の感染症に対する検査体制維持のための体制整備	検査体制整備の回数	成果実績	回	-	1	3	
			目標値	回	-	1	1	1
			達成度	%		100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	①～③感染症予防に係る各種検討会、担当者の研修会の開催回数	活動実績	回	14	14	21		
		当初見込み	回	15	17	17	12	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	①～③感染症予防に係るリーフレット等作成枚数	活動実績	枚	9,540	126,555	9,705		
		当初見込み	枚	9,540	10,540	11,570	21,380	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	活動実績	当初見込み					
④特定接種管理システムの構築及び保守運用	活動実績	件	件	—	—	1	
	当初見込み	件	件	—	—	1	1
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	活動実績	当初見込み					
①～④ Dengue 熱等の蚊媒介感染症の遺伝子検出キット及びエボラ出血熱に関する検査体制確保のための検査キット・試薬等を購入	活動実績	回	回	—	—	3	
	当初見込み	回	回	—	—	1	1
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「感染症予防対策費執行額」 Y:「検討会・研修会開催回数」		計算式	X / Y	18百万円 / 14	20百万円 / 14	24百万円 / 21	13百万円 / 12
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「感染症予防に係るリーフレット等作成に要した額」 Y:「感染症予防に係るリーフレット等作成枚数」		計算式	X / Y	8百万円 / 9,540	8百万円 / 126,555	4百万円 / 9,705	14百万円 / 21,380
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「特定接種管理システムの構築・保守運用に要した額」 Y:「特定接種管理システムの構築・保守運用件数」		計算式	X / Y	—	—	22百万円 / 1	20百万円 / 1
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y						
X:「エボラ出血熱、Dengue 熱、鳥インフルエンザ等の検査キット・試薬等の整備に要した額」 Y:「エボラ出血熱、Dengue 熱、鳥インフルエンザ等の検査キット・試薬等の整備回数」		計算式	X / Y	—	—	14.3	14.3

平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	社会保障関係情報化業務	34		
	庁費	23		
	委員等旅費	5		
	諸謝金	3		
	職員旅費	1		
	計	66	0	

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信は重要であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するためには、広域的な対応が必要であり、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために必要な措置を講じる事業であり、感染症の発生・まん延の防止を図るという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	予算決算及び会計令により認められている少額随意契約を除き、一般競争入札を行っている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	感染症の発生・まん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信は重要で、国民のニーズ、優先度ともに高く、国の関与のもと、適切かつ迅速に実施すべき事業であり、受益者との負担関係は妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札による単位あたりコストの削減に努めている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	感染症の発生・まん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信を実施するために真に必要な費目を対象経費としている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	概ね当初見込みどおりの実績となっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初見込みどおりの活動実績となっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	各種検討会の検討結果については広く公表し、各種施策へ活用している。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	<p>感染症予防に係る検討会や研修を実施し、感染症予防対策を推進するとともに、特定感染症予防指針に基づく予防対策等を検討する検討会等を行い、必要な情報を国民に対して公表している。また、新型インフルエンザの発生に備え、特定接種管理システムの構築等を行った。</p> <p>さらに、今般のデング熱の発生を受けて全国の地衛研において適切な検査ができるよう検査試薬等を整備したほか、感染研においてエボラ出血熱に対する検査を確実に実施するため、検査試薬等の整備を行った。</p> <p>これらは感染症の予防、まん延の防止に寄与し、事業目的に則した適切なものであり、今後とも必要な事業である。</p>					
	改善の方向性	引き続き、本事業に取り組むことにより、感染症予防対策や動物由来感染症対策の推進を図る。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	136	平成23年度	91	平成24年度	91		
平成25年度	102	平成26年度	112				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 112百万円



{ 随意契約、一般競争入札 }

A 民間会社(72者) 93百万円

{ 感染症予防対策に必要な経費 }

うち事務費 19百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.岩井化学薬品株式会社			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	製造費	遺伝子検出キット、試薬等の製造	25			
	計		25	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩井化学薬品株式会社	遺伝子検出キット、試薬等の購入	25	1	98%
2	スリーハンズ株式会社	特定接種管理システムの構築及び保守業務	22	8	19%
3	株式会社池田理化	検査機器等の購入	8	2	96%
4	株式会社チヨダサイエンス	超低温フリーザー等の購入	8	2	95%
5	ダイヤル・サービス株式会社	新型インフルエンザ等感染症に関する相談業務	4	2	67%
6	株式会社太陽美術	普及啓発資料等の印刷	4	随意契約	-
7	サンテックサービス株式会社	普及啓発資料の梱包発送業務	1	随意契約	-
8	理科研株式会社	遠心機等の購入	1	随意契約	-
9	協新流通デベロッパ株式会社	普及啓発資料の梱包発送業務	1	随意契約	-
10	エルゼビア・ビー・ブイ	感染症関係資料の購入	1	随意契約	-